



おぐに議会だより

第49号

令和5年2月10日

- 令和4年 第3回臨時会
- 令和4年 第4回定例会
- 町政を問う(一般質問)

表紙の写真

＜ASOおぐに観光協会による観光PR活動＞

令和4年第3回臨時会 令和4年11月4日(金)

(議案名は一部短縮して記載しているものがあります)

○議案第45号 令和4年度一般会計補正予算(第7号)

…5,650万円を追加し、65億2,607万6千円とする
価格高騰緊急支援給付金5,550万円(住民税非課税世帯等臨時特別給付金)
事務費100万円

全員賛成
可決

○同意第4号 教育委員会委員の任命

…千明和浩氏が辞職したことによる、後任として

氏名 木下 勇児
生年月日 昭和37年2月14日
住所 宮原



賛成多数
同意

○同意第5号 教育委員会委員の任命

…田代篤雄氏が辞職したことによる、後任として

氏名 時松 比佐代
生年月日 昭和35年12月18日
住所 上田



全員賛成
同意

○同意第6号 教育委員会委員の任命

…梅田聖子氏が辞職したことによる、後任として

氏名 石松 愛子
生年月日 昭和53年2月11日
住所 北里



全員賛成
同意

令和4年第4回定例会 令和4年12月13日(火)~15日(木)

【 条 例 】

○議案第46号 一般職の職員の給与に関する条例及び任期付職員の採用等条例の一部改正

…国及び県の人事院勧告に伴い、一般職の職員及び任期付職員の給与表等について改正
一般職の職員等の勤勉手当を0.1月増額及び任期付職員の勤勉手当を0.05月増額

全員賛成
可決

○議案第47号 議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

…公職選挙法の改正に伴い、運動用自動車費用、運動用ビラ作成費用、運動用ポスター作製費用を公費で負担をすることができる、とする条例の制定

賛成多数
可決

○動議 議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例に対する委員会付託動議

…委員会で公費負担の対象を新人候補に限るとする修正を加えるため

反対多数
否決

○議案第48号 職員の定年等に関する条例の一部改正

…地方公務員法の改正により、職員の定年年齢を段階的に65歳まで延長する等の改正

全員賛成
可決

○議案第49号 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

…職員の定年年齢の延長等に伴い、当該職員の給与等の取扱いについて改正

全員賛成
可決

○議案第50号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

…職員の定年年齢の延長等に伴い、当該職員の勤務時間、休暇等について改正

全員賛成
可決

○議案第51号 職員の懲戒の手続き及び効果に関する条例の一部改正

…職員の定年年齢の延長等に伴い、当該職員の懲戒手続き等について改正

全員賛成
可決

○議案第52号 職員の降給に関する条例

…職員の定年年齢の延長等に伴い、当該職員の降給取扱い等を定める

全員賛成
可決

○議案第53号 光ファイバーネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

…令和5年3月31日でサービスの一部を終了することに伴う改正

全員賛成
可決

○議案第54号 町営住宅条例の一部改正

…町営住宅の入居手続き時に必要となる、連帯保証人数を2人から1人に変更

全員賛成
可決

○議案第55号 町営単独住宅条例の一部改正

…町営単独住宅の入居手続き時に必要となる、連帯保証人数を2人から1人に変更

全員賛成
可決

○議案第56号 小国高等学校町営寄宿舎設置条例

…小国中学校寄宿舎の一部を、小国高等学校町営寄宿舎として設置

全員賛成
可決

○議案第57号 熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更

…熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体から「菊池環境保全組合」を削る

全員賛成
可決

【公共工事請負契約】

○議案第58号 公共工事請負契約の締結

…町道湯鶴線防災対策(かん渠布設)工事 8,822万円 株式会社ミトマ

全員賛成
可決

【予算】

○議案第59号 令和4年度一般会計補正予算(第8号)

…2億8,241万7千円を追加し、68億849万3千円とする

基金積立金1億7,000万円 ふるさと寄附金謝礼1,500万円

施設型保育給付費630万円 急傾斜地崩壊対策負担金1,200万円

銅鏡作成補助300万円 災害復旧費1,360万円など

全員賛成
可決

○議案第60号 令和4年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

…517万6千円を追加し、11億9,407万4千円とする

介護給付費返還金293万2千円 地域支援事業交付金返還金269万4千円

全員賛成
可決

【人事】

○同意第7号 固定資産評価審査委員会委員の選任

…任期満了に伴う再任として

氏名 澁谷 洋典

生年月日 昭和33年3月31日

住所 宮原

全員賛成
同意

賛否が分かれた議題の採決結果

| 議案番号 | 議題名 | 結果 | 時松昭弘 | 江藤理一郎 | 穴見まち子 | 久野達也 | 児玉智博 | 大塚英博 | 西田直美 | 松本明雄 | 熊谷博行 |
|-----------------|---|-----------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 第3回臨時会 同意4号 | 教育委員会委員の任命 | 同意 6:1 | 欠席 | 賛成多数 | | | 欠席 | 賛成多数 | | | |
| 第4回定例会 議案47号 | 議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例 | 可決 | 欠席 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | × | 欠席 |
| 第4回定例会 動議 | 議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例に対する委員会付託動議 | 否決 | 欠席 | × | × | × | ○ | × | ○ | × | 欠席 |

【 討 論 】

第3回臨時議会 ○同意第4号 教育委員会委員の任命

反対討論・・・

【西田】前教育委員会事務局長が教育委員会に意見を言う立場の教育委員になることが適正か考えると、出来るだけ外した方が良いと思う。

賛成討論・・・

【穴見】男が1人、女が3人というのはやはり配慮が届くのではないかと思う。自分の意見をしっかり言ってもらいたいために、私はよかったのではないかと思う。

第4回定例会 ○議案第47号 議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

反対討論・・・

【西田】このタイミングは町民の納得できることではない。公費負担にするのであれば新人候補に限るべきであり、現職の再立候補は自費負担にすべきだ。

【児玉】町民がコロナ禍、物価高騰で大変な思いをして今後ますます困難な状況になろうとする中、町民給付を差しおいて自分たちの選挙給付を決めてしまうなど逆立ちそのものだ。

賛成討論・・・

【久野】公職選挙法は改正がなされ令和2年に施行されている。誰もが参加できる公営選挙として、公費を負担し多くの方に立候補いただき、施策も展開し、町民に訴えることにより町政の発展を担おうとしている。

【大塚】議員は町を良くしようという志のもとで立候補している。幅広く志を持って新しい人材がたくさん出られるような土壌をつくっていただき、町を良くしようという方たちにたくさん出てください。

一部事務組合議会報告 令和4年第2回小国郷公立病院組合定例会

令和4年9月27日(火) 報告者：松本 明雄

○議案第1号 熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更

・・・「小国町外一ヶ町公立病院組合」を「小国郷公立病院組合」に改める

○議案第2号 令和3年度病院事業会計決算認定

・・・収益的収入22億4,532万5,136円 収益的支出16億2,218万7,186円
資本的収入 7,435万7,654円 資本的支出 6,162万6,383円

○議案第3号 令和4年度病院事業会計補正予算(第1号)

・・・機械及び備品購入費「5,274万4千円」を「5,954万8千円」に改める
資本的収入に1,049万2千円及び資本的支出に608万3千円を増額
企業債「3,355万円」を「1,770万円」に改める

令和4年第3回阿蘇広域行政事務組合定例会

令和4年10月21日(金) 報告者：江藤 理一郎

全7議案が提出され、全て全会一致で可決された。内、小国町に関連する議案は以下の通り

○認定第1号 令和3年度阿蘇広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算

・・・7市町村の負担金総額が27億1,076万7千円。内、小国町の負担金は3億4,874万円（北部火葬施設1,200万円、北部清掃施設2,240万円、北部し尿処理施設5,100万円、未来館清掃施設費1億466万円、消防費1億3,150万円）

○議案第12号 阿蘇広域行政事務組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定

○議案第14号 令和4年度阿蘇広域行政事務組合一般会計補正予算(第1号)

・・・3,612万9千円を追加し、33億5,659万1千円

阿蘇広域行政事務組合議員視察研修

◆ 1月14日(月)から15日(火)菊池環境クリーンの森合志と佐賀市清掃工場を視察した。

一般質問一覧表

| | | |
|-------|-------|--|
| P 5 下 | 熊谷 博行 | ①新教育長就任について ②DX推進について ③シアタールーム進捗状況について |
| P 6 上 | 穴見まち子 | ①子供たちの為に学校での塾の体験はできないか ②コロナの中これからのインフルエンザ、コロナ対策避難所対策は ③2024年1000円札発行にむけて町全体で花いっぱいにする |
| P 6 下 | 久野 達也 | ①子ども政策の現状と今後(保育の現状、「こども家庭庁設置法」と「こども基本法」の施行と今後、「こども権利条例」(仮称)の制定に向けて) |
| P 7 上 | 児玉 智博 | ①新型コロナ対策について ②物価対策について ③無料低額診療について ④教育委員辞職と教育長人事について |
| P 7 下 | 江藤理一郎 | ①小国高校の存続について ②集落支援員制度の導入について ③住宅問題の解消について ④殿町火災跡地の利用について |
| P 8 上 | 大塚 英博 | ①高齢者への福祉について ②人口減少対策について ③地熱資源と観光資源の活用について |
| P 8 下 | 西田 直美 | ①新教育長としての教育目標・方針について ②マニフェストの検証と現在の課題について |
| P 9 上 | 松本 明雄 | ①マイナンバーについて ②河川掘削(全般) ③小規模企業振興に関する条例 ④有害鳥獣対策 ⑤住宅問題 ⑥職員への指導教育 ⑦商品券の活用 |



熊谷 博行

新教育長に期待

園教育長人事における一連の騒動事件今後、行政はどのような対応策を行うか課長では答えられないだろうから、町長毅然とした答弁を求める。

【町長】私が町長である間は、全て私が受けて立つ。それは間違いない。

園就任なされて2か月が過ぎ色々私と一緒に叩かれた。精神的に教育長は強いハートの持ち主と思う。それは同級生だから間違いなく言える。それではズバリ教育長としての将来に対する見通し・理想・展望を説明願う。

【教育長】まず私が教育長に就任したことで色々な方々にご迷惑をお掛けしたことに大変心苦しい思いをしている。今回の件いろいろあったが最初からしっかり頑張れと励まされたと思い現在やって

いる。教育長は選挙で選ばれたわけではなく、また私にやらせて下さいとお願いしたのでもないので、自分の思いを実現するのではなくその都度町民の方々や子どもたちの思いを実現することが本来の役目だと思っている。「人と人、心と心をつなぎ誰一人取り残さない教育の推進」とし、常に学校現場に出向き学校の実態、児童生徒の実態把握に努め、学校と教育委員会のスムーズな流れ・スピード感を持った対応ができる環境を構築する。

園中学校の部活動地域移行について問う。前任の教育長からは明確な考えを聞くことが出来なかった。国の方針もコロコロ変化する中大変と思うが令和5年4月にスタートする。方針はどのようなものか。

【教育長】小国町、南小国町を合同で小国郷と考えている。中学校の地域移行は歴史的な大転換と言われている。小学校はすでに移行されたが多くの課題がある。指導者の確保や保護者の負担、経費の問題、指導時間の規定など問題は山積している。今後は県のガイドライン、他市町村の事例や国庫補助金申請等、町民の方々と知恵を絞り解決したい。



穴見まち子

地域学校 協働活動に ついて

【町民】コロナ禍の中3年ぶりに文化祭が行われた。子ども達の作品を見ていると塾に行けなくなっている子どもがいる。小国は地域学校協働活動を生かした授業サポートをしてはどうか。

【教育長】絵画や書道の応援隊として、地域学校協働活動の中で作れば先生方に教えていただくことも可能であると思っている。

【町民】教育長の考える良い先生とはどんな先生か。

【教育長】何事にも一生懸命に取り組む確かな指導力と実践力を持っている、子ども達が学ぼうとする意欲を引き出す先生が良い先生だと思っている。教育委員会は、学校や校長先生が同じ目標に向かって十分に自分の力を発揮し、働きやすい環境づくりが必要だと思っている。

【町民】インフルエンザ、コロナ対策避難所対策は大丈夫か。

【町民課長】現在コロナ濃厚接触者には指定避難所とは別な施設を用意している。疾患のある方など人数と条件など場合によっては町民センターを用意している。

【町民】2024年新千円札発行に向け、花いっぱいにする提案だが、道路状況は。

【建設課長】小国管内の国道212号線、387号線と442号線は全線改良済みであるが、県道北里宮原線北里地区の道路改良を行う予定である。

【町長】建設課と情報課を中心にシアタールーム、記念館周辺を北里英郎先生と一緒に小国町から全国に、そして世界へ発信する。住民の皆さまに関わっていただきご協力を賜りたいと思っている。

【情報課長】2024年に向けて、森林組合、商工会、観光協会等のそれぞれが協議会に参画していただき、1つのアイデアになればと思っている。



久野 達也

こども権利 条例の検討を

【町民】静岡での子どもに対する行為は驚愕の域を脱しない。小国ではなく他地域の事だったとしても、この事を真摯に見つめ、現状点検をすることも必要かと思う。このような事が起きない取組や創意工夫等あればお聞かせ頂きたい。

【保育園長】子どもたちへの安心できる環境づくりが一番と考えている。保育者も環境の一つと捉え、こどもへの言葉かけや関りが育ちを支える大切な役割と認識し、自分の保育を確認している。

【町民】国では「こどもまんなか」社会を目指して、個人として尊重されること・基本的人権が保障されること・差別的扱いを受けないこと・適切に養育され生活を保障されることや教育を受ける機会が等しく与えられること等々を目指した「こども基本法」と「こども家庭庁設置法」が令和4年6月に可決成立している。このような国

の動きが、町の子ども施策運営等にどう影響し、どのような展開が必要かをお聞かせ頂きたい。

【町民課】「こども家庭庁」では、これまで内閣府子ども子育て本部や厚生労働省・文部科学省にまたがっていた政策調整権限の強化を目的にこども家庭庁に一本化するとされている。2つの法施行は令和5年4月となっており、現時点で具体的な施策等は詳しく示されていない。職員数や財源確保の部分などいろいろ問題もあるが、きめ細やかな気配りと相談事業を充実させ支援につなげていきたい。

【町民】福岡県那珂川市では子どもを主語として、権利保障、やさしい町づくり、権利侵害に対する相談・救済、施策の推進及び検証などの内容で「子どもの権利条例」が令和3年4月に施行されている。宣言条例的な意味合いを含んで、小国町でもこのような子どもの育ちや権利を保障し保護する条例の検討を頂きたいが如何か。

【町長】子どもが中心の考えは、地域にも環境にも優しいにつながっていくと思う。子ども中心の考えは私が提唱するAll For The Nextのところからもおくなく、しっかりと次世代につながっていくのかを考え、条例等を盛り込めるようなところまで到達できればと思っている。検討をしっかりとし次世代のためにも考えさせて頂きたい。



児玉 智博

公立病院で 無料低額診療の 実施を

【問】無料低額診療は低所得者などに医療機関が無料または低額な料金によって診療を行う事業だ。厚生労働省は低所得者、要保護者、ホームレス、DV被害者、人身取引被害者などの生計困難者が無料低額診療の対象としている。全ての町民が経済的な理由により必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、お金が理由で助かる命が助からない事態を発生させないためにも小国公立病院で実施する考えはないか。

【町民課長】無料低額診療を行う事で税制面の優遇措置があるのが病院側としてはメリット。しかし小国公立病院は税制面での優遇措置を受ける事が出来ない。患者の自己負担部分は

病院が負担する事になる。公立病院へ情報提供はした。

【町民課長】県内では熊本市を除いて8つの医療機関が無料低額診療に取り組んでおり、令和3年度は2万6千325件から150件実施されている。一つ言える事は、これらの病院の近くに住んでいればお金がなくても助かる命が、小国町では助からない場合が有り得るという事だと思う。生活保護基準ぎりぎり年金支給日前には財布にお金がないという方は、町内に何人もいると思う。そういう方もいざという時に病院にお金の心配なくかかれますよという環境を小国町にも準備しましょうよと言っている。病院に何の利点もないとかそういう次元の話をしているわけではない。

【町民課長】メリット部分がなくともやる事は出来る。まずは情報提供をして、制度の中身をしっかりと確認した上で今後検討するかどうかは病院と話をしていくべきではないかと思っている。現時点でやるやらないという事を答弁したつもりはない。



江藤理一郎

小国高校の 魅力化に ついて

【問】現在、県内には県立高校が50校あり、各校では夢に挑戦できる魅力ある高校を目指した取組が進んでいる。来年度からは高森高校のマンガ学科、地域創造コースの松橋高校など6つの高校で新学科や新コースが誕生する。

【町民課長】その中で、小国高校では他県等からの入学希望者に対して中学校の寄宿舎の空いている部屋を高校生が使うことができる小国高等学校町営寄宿舎設置条例の制定に至り、よそからの生徒を増やす準備はできた。次は高校の魅力化であるが、内閣府の高校魅力化支援事業という国の事業があり、東京など全国から小国の様な地方の高校に留学することを推進させる地域留学というものがある。現在98校が取組んでおり、地域留学を進めるために

高校の魅力化を図ることにに対して補助金を交付する事業であるが、導入する考えはないか。

【教育長】早速局内でも検討し全国各地で展開されており興味深く感じている。まずは高校と県教委の考えを優先して早急にはではないが、今後の選択肢の一つとして考えていきたい。

【問】次年度から中学生の運動部活動が段階的に地域移行することになるが、今後は小中高一貫という形で指導者を一元化させ小国の子どもの部活動を活発化させることは検討できないか。

【教育長】小国高校を活動の拠点とし、高校の部活動を中学校の部活動とともに地域移行し、持続可能なスポーツ環境を構築できれば、小国郷の大きな特色になると考えている。指導者の確保が課題である。

【問】住宅不足と殿町火災跡地について伺う。

【町長】デジタル田園都市国家構想の地方拠点整備タイプというものがあり、民間で住宅、アパートなどを建てた場合に内半分を国の予算で補填するような制度も出てきた。また、火災跡地については土地や建設などタイミングが大事である。まずは地権者の意見を一番に考えながら色んなお話をしていきたい。



大塚 英博

避難所支援 及び観光資源 活用について

問地域のコミュニティの場としての集会所、公民館に避難所としての機能を持つ為にも町として支援してはどうか。

【町長】町の方向性の中で、公民館施設の使い方を改めて検討させていただき個々の部分については少しお話を頂いて検討させていただきたい。

問菊陽町のTSMCに関連する企業の誘致活動は出来ないか。

【町長】再生可能エネルギー100%のエネルギーを外国企業は求めている。その部分ではしっかりアプローチをさせてもらっている。

【政策課長】町内に光ケーブルが整備され、都市と農村部の情報格差がなくなった。企業誘致の

対象にならなかったソフト関係の企業誘致ができる可能性が出てきている。

問町営住宅の老朽化に伴う修繕状況は。

【建設課長】桜ヶ丘住宅については60年経過している事で要望があれば、一応修繕で対応している。

問観光資源としての鍋ヶ滝の町に及ぼすメリットは何か。

【情報課長】入園料は年間4,000万円見込んでいる。経済的なセンサス等のデータからいくと、単純計算で年間2億8千万円から3億円の経済効果が予測される。シアタールームが完成すれば鍋ヶ滝以上に増えてくることが考えられる。

問地熱資源が町に及ぼすメリットは。

【町長】地熱発電所の計画で5,000キロが2か所進んでいる。建設が一年以上かかると思われる。建設自体が50億円から70億円かかると言われる。町にも建設の時点でメリットがあり、稼働し続けていくとすれば固定資産税、法人税等でかなりの収入が見込まれる。



西田 直美

村上新教育長と 渡邊町長への 質問

問今後3年間小国の教育行政のトップとして小国の教育をどうしていくか。

【教育長】人権が尊重される町づくりをあらゆる機会をとらえ推進する。また人と人、心と心をつなぐ誰にとっても居心地の良い温かい学校づくりに努めたい。

問学力低下が大きな問題だがどうするか。

【教育長】特効薬はない。教師の指導力と実践力、指導を受け入れる生徒の高い意識、保護者や教育委員会の支援の3点あると思う。

問地域未来塾を中1や中2へ拡大することや小学校の無料塾開設は考えているか。

【教育長】デジタル問題集など検討している。

問前回の選挙で出した5つのマニフェストについてどう自己評価するか。

【町長】公立病院の体制が変わり様々な取り組みが出来つつある。産交バスから乗合タクシーに切り替えより良い地域交通に変えている。

移動販売も社協で始まった。

【西田】移動販売が始まったのは非常に良かった。より充実していくことを期待する。

神戸物産株取引について、以前同僚議員の質問に町長は株取引に問題はないと答えた。しかし、現在地熱発電開発を行っている小国町おこしエネルギーと神戸物産は密接な関係がある。取引自体に問題はなくても、妙な疑念を持たれないよう慎重であるべきだ。

問コロナ交付金の使い道でやって良かったものは何か。

【町長】皆さま方に上程した議案すべてが良かった。交付金だけでは足りなくて14%は一般財源を使っている。

問選挙費用の公費負担が今議会で採択された。4月の町長選挙で渡邊町長は公費を使うのか。

【町長】費用は一般財源だから使ってもいい、使わなくてもいいのならば、使わないということだけはお約束したい。



松本 明雄

マイナンバー、 災害対策と現状 事業承継、 有害鳥獣

この程、町民へ町内でのみ利用可能な20,000円分の商品券が配られる事になった。商店にとっても町民にとっても大変ありがたい事で少しでも早く皆様のお手元に届くことを願う。小国町のマイナンバー普及率を問う。

【町民課長】申請率58.4% 交付率52.4%(カードを受け取り済み)で、県平均とほぼ同じくらいの状況だ。

災害復旧の進行状況を問う。

【建設課長】農業災害、公共災害共に70%の完成率で全てにおいて、入札、発注済み。県土木部の河川災、砂防、急傾斜に関しても工事施工と完了を待つのみである。

建設課の復旧に向けた迅速な対応、今後もお願いしたい。

河川増水対策としての河川掘削について、杖立川は全面的に行うようだが、宮原の河川掘削に関して、特に静川(学校下)においては昆虫の生息地で難しいのではという話を聞いている。現状説明を。

【建設課長】県管理河川の志賀瀬川(原田コンクリートからJAまで)においては、ほぼ完了している。筑後川においては、小学校下から柏田住宅までも再度掘削を行うことで、入札も終わったが、筑後川と蓬萊川にはヨシに生息する希少生物のゲンバイトンボが確認されているので、生育を保持する形で環境保護団体と調整しながら、護岸自体の安定も保ちつつ、出来る限り精一杯の掘削を行う。

事業承継、小規模事業者の支援、商工会と情報課と密に連携し合い町の商工業の力になってもらいたい。

【町長】共に頑張りたいと思う。

【松本】有害鳥獣の捕獲数が大変増えているとの事で、何度も言うが早く駆除対策と肉の活用をしてもらいたい。課長には指導方針や思いを熱く語っていただき感謝する。小国町の発展のため、1日1日を大切に町民の皆様へ寄り添う職員であっていただきたい。

視察・研修

◆ 長崎県壱岐市 10月5日(水)、6日(木)

参加者：松崎、江藤、穴見、久野、大塚、西田、熊谷及び渡邊町長、議会事務局長

壱岐市は平成30年、小国町と同時に「SDGs未来都市」に選定された事が縁で小国町との交流が始まりました。研修では、「壱岐市におけるSDGsの事業取組状況や課題など」を聞きました。

スマート農業

AI・IoTを取り入れ、栽培技術の取得しやすさや作業負担の軽減を図り、持続可能な農業を目指す。

規格外品利用

規格外品(アスパラガス・ムラサキウニ)を、多様な販売網をもつ企業との連携や協力で加工し販売することで、収益力の向上を目指す。

みらい創りプロジェクト

高校生を対象にイノベーション(技術革新)教育を通し、地域に対する誇りや愛着を醸成し、地域課題解決のアイデアを創出する。小中学生や、一般の方の参加も増え、地域に密着した対話会に繋げている。

再エネ活用の地産地消

水素を活用した再エネ導入拡大を図っている。現在段階的にRE水素実用化実証システムを導入し、有効性等を検証している。地場産業振興も期待できる。



熊本県町村議会議員研修会

◆ 熊本県立劇場 10月4日(火)

参加者：松崎、江藤、穴見、久野、児玉、大塚、西田、松本、熊谷

徳島県の認定NPO法人グリーンバレー理事の大南信也氏が、徳島県神山町の30年間のまちづくりについて講演しました。

議会だよりが特別賞を受賞!

11月24日に熊本県町村議会広報コンクールの表彰式と研修会がグランメッセで開かれました。特賞は大津町でしたが、小国町の議会だよりも特別賞を受賞しました。第44号で女性議会を取り上げた記事が評価されたものです。思いがけない受賞でしたが光栄なことで関係者の皆さまに感謝申し上げます。



編集後記

2019年の第35号から4人の広報委員で議会だよりをお届けしてまいりました。議会だよりは町議会の出来事を町民のみなさんにお知らせし、町政に関心を持っていただくために発行しています。出来るだけ自分達の手でやりたいと企画や紙面づくりをしてきました。もっと内容も充実し読みやすい議会だよりをお届けできれば良かったと反省する所もありますが、これまでお読みいただきありがとうございます。現委員での発行は今回が最終となり、次回は半年後に新委員でお届けの予定です。今後とも議会だよりをよろしく願います。

(文責 西田)

【発行責任者】

議長 松崎 俊一

【広報委員会】

委員長 西田 直美

副委員長 江藤理一郎

委員 久野 達也

委員 児玉 智博



傍聴に来ませんか



高村 純次 さん

(下城)

(12月15日傍聴)

せっかく立派な議場が出来たのに、傍聴者が少ないと感じた。議員と執行部がもっと鋭い質問と的確な答弁になるよう努力して、町民が関心を持つよう仕向けてほしい。

議員は議会でどんな発言をしているの？

どんなまちづくりを考えているの？

議会に来てあなた自身でご覧ください！

※次の定例会は3月です。

日程は広報やおぐちゃんでお知らせします。

町議会の会議録は町ホームページの中に掲載されています。ご覧ください。

表紙について

ASOおぐに観光協会の三浦めぐみさん(右)と松崎凜華さん(左)。観光パンフレット「おぐに女子旅」の作成やInstagram等、女子目線で町の観光PR活動を展開しています。

